

Course number		U-LAS40 20009 LJ26								
Course title (and course title in English)		精神保健福祉概論 Mental Health and Welfare			Instructor's name, job title, and department of affiliation		Graduate School of Human and Environmental Studies Professor,FUNABIKI YASUKO			
Group		Health and Sports		Field(Classification)		Health and Sports Sciences(Development)				
Language of instruction		Japanese		Old group				Number of credits		2
Number of weekly time blocks		1	Class style		Lecture (Face-to-face course)		Year/semesters		2025・First semester	
Days and periods		Tue.3		Target year		All students		Eligible students		For all majors

(Students of Faculty of Integrated Human Studies cannot take this course as liberal arts and general education course. Please register the course with your department.)

[Overview and purpose of the course]

近年、様々な社会場面において、うつ病、不登校、発達障害、ひきこもりなどこころの問題が次々に社会問題として取り上げられ、メンタルヘルスの重要性が指摘されています。このこころの健康の問題は、さらには、虐待、いじめ、ハラスメント、自殺などの問題とも関連し、取り組むべき喫緊の課題となっています。また、科学技術の進歩や感染症対策ともあいまって、生活様式も変化しており、その変化がこころに与える影響も無視できません。

それらの課題を解決していくには、専門家に限らず、より多くの人や立場からの理解が欠かせず、その上で、時々刻々と変化する社会的なニーズに見合った制度設計が必要です。

本授業においては、どのような進路に進む方にも必要なこころの健康を維持するための基本知識と、時々刻々と更新されていく社会的取り組みや制度について背景から解説します。また、これらを通して、自身や周囲のメンタルヘルスの維持に加え、学校や職場や家族という単位でも役立つ知識の提供と、当該分野における意識を深めることを目的としています。

[Course objectives]

実社会におけるこころの分野の施策は、現状を踏まえながら、時々刻々と更新されていきます。その実情についていきながら、自身や周囲の今後に役立てる知識を習得します。さらに、社会情勢に合わせて必要となる課題を意識する力を養い、それに対処または解決する方向性について考える土台を作ることを目標としています。

[Course schedule and contents)]

以下の内容について、授業を行います。
リアルタイムな話題が生じた際には、そのテーマについて取り上げます。

- 1.授業の概要説明と精神保健福祉とは
- 2.いじめ、ひきこもりの課題と対策
- 3.教育現場の制度
- 4.虐待防止法 / 児童・高齢者・障害者
- 5.神経発達症者に対する取り組み：発達障害者支援法とこれから
- 6.神経発達症児のための制度と福祉サービス（現場経験を持つ博士課程院生による講義）
- 7.職場における精神保健
- 8.保健医療分野における取り組み
- 9.司法・犯罪分野における制度
- 10.地域生活支援（支援機関、自助活動）

Continue to 精神保健福祉概論(2)

精神保健福祉概論(2)

- 11.災害時のこころの支援、支援者のメンタルヘルス
- 12. 13.レポート作成、まとめ
- 14.意見交換
- 15.フィードバック

[Course requirements]

None

[Evaluation methods and policy]

平常点（授業への参加状況）(60)、授業内容に沿ったレポート(40)により評価

[Textbooks]

授業に使用するスライドをKULASISに掲載

[References, etc.]

（References, etc.）

船曳康子 『MSPA(発達障害の要支援度評価尺度)の理解と活用』（勁草書房）

精神保健福祉白書編集委員会 『精神保健福祉白書』（中央法規）

[Study outside of class (preparation and review)]

授業内容の復習

関連する時事問題に目を通して、問題意識をもって考察しておく、理解が深まります。

[Other information (office hours, etc.)]

[Courses delivered by instructors with practical work experience]

(1) Category

A course with practical content delivered by instructors with practical work experience

(2) Details of instructors' practical work experience related to the course

医師（精神科医・内科医）としての診療従事、行政・地域福祉・学校現場と連携した社会的支援の実務（公認心理師取得）

(3) Details of practical classes delivered based on instructors' practical work experience

教科書やメディア情報からは得られない、精神科医としての実臨床や地域連携における実体験に基づいた解説を追加します。